

2024年 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患症例の実態調査

実施のお知らせ

患者様（および保護者様）各位

この度、当院において、外来または入院治療を受けた患者様の診療情報等の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。この研究課題に対し診療情報を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報を利用・提供して欲しくない場合は、2024年10月31日までに各担当医師までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2024年9月1日より2024年10月31日までの間に、当院において、外来または入院治療を受けたアルコールを除く薬物使用に関連した精神疾患の患者様

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名

全国の有床精神科医療施設（約1530施設）のうち、本調査への協力に同意した精神科医療施設

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：2024年 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査

研究期間：2024年7月1日～2026年3月31日まで（情報提供する期間：2024年9月1日～10月31日）

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等：診療録（年齢、性別、教育歴、就労状況、主に乱用していた薬物の種類、現在の精神医学的状态、入院歴、受診の経緯、自傷・自殺歴、自助グループや民間リハビリ施設、依存症集団療法の利用状況など）

（取得方法）診療録から転記させていただきます

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

この調査は、精神科医療施設で治療を受けておられる患者様を対象として1987年以来継続的に実施されている日本で唯一の薬物関連精神疾患に関する全国調査です。この調査は、精神医療の現場における実態の把握と薬物関連精神疾患の回復に役立つ国の対策に、これまで多くの貴重な資料を提供してまいりました。2024年調査でも、近年における乱用薬物の実態や薬物使用患者様の生活背景や臨床的特徴を明らかにし、薬物使用に関連する問題を抱えている患者様の治療や地域支援に役立つ知見を集積し、今後、和学の薬物政策の企画立案に際しての基礎資料をなることを目指します。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名： 国立精神・神経医療研究センター

所属： 精神保健研究所薬物依存研究部 氏名： 松本俊彦

電話番号： 042-341-2712, 内線6221

e-mail: tmatsu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）